

資料3

指標及び施策の方向性(素案)

1日3食をバランスよく食べる食習慣

指標の方向性(素案)

現行	方向性(素案)	備考
① 健康のために毎日の食事を大切にしようとする児童生徒の増加	① 健康のために毎日の食事を大切にしている児童生徒の増加 ※過去に調査を実施していないため、調査できる内容にした。 ※「～しようとする」は、調査しにくいことから、「～している」と修正した。 ※既存の生活習慣に関する調査項目を活用することができる。	事務局(案)
② 朝食を毎日食べる児童生徒の増加 [100%に近づける]	② 朝食を毎日食べる児童生徒の増加 [100%に近づける]	変更なし
③ 朝食の内容の改善(主食・主菜・副菜を一緒に食べる児童生徒の増加) [「主食・主菜・副菜を摂る割合」を「主食を摂る割合」に近づける]	③ 「主食」と「おかず」を組み合わせた朝食を食べる児童生徒の増加。	事務局(案)
④ 栄養のバランスがとれた給食を残さずに食べる児童生徒の増加(「残さず食べる」「食べることが多い」[男子5ポイント、女子10ポイント増加])	④ 栄養のバランスがとれた給食で、苦手な食品も食べてみる児童生徒の増加。 [参考: 質問内容] 給食に苦手な食べ物が出たら、あなたはどうしますか。 (1)残さず食べる (2)食べられるところまで食べる (3)ひとくちは食べてみる (4)食べずに残す	事務局(案)

施策の方向性(素案)

凡例					
新規	拡充	継続	統合	廃止	調整中

現行	方向性(素案)	備考	指標の方向性(素案)との関連
方策 4 食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付ける食育の推進	方策 食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付ける食育の推進		
(1) 食に関する児童生徒の意識の向上と教員の意識・指導力の向上を図る取組	(1) 「食に関する指導の手引(仙台市版)」を活用した食育の推進		
① 児童生徒用食育啓発資料の作成と配布 廃止	①	(金淵委員)教職員が取組やすい方法を検討するとよい。(松本委員)何をすればよいか明示していると教職員に浸透する。	①②③④
② 食に関する指導の全体計画・学年ごとの年間指導計画モデルの作成と提示 廃止			
③ 『食に関する指導の手引き(仙台市版)』の刊行 拡充			
④ 給食訪問による指導助言 継続			
⑤ 教職員対象の食育推進に関する研修会の実施 継続			
⑥ 「食育月間」「食育の日」の取組についての指導・支援 継続			
(2) 家庭での食事の改善や「共食」のすすめなど、食生活の充実に向けた取組	(2) 家庭・地域・関係機関との連携		
① 保護者の食に関する意識の向上を図るパンフレット等の作成・配布 継続	①	【新規】(事務局)教員として食に関する指導の大切さを理解する必要があるため。 【新規】(事務局)食物アレルギーの児童生徒が増加傾向であるため実施。	①②③④
② 給食Webページの充実 継続			
③ 保護者の食に関する意識を高め、家庭での食生活に生かす研修会の実施 統合 →総合的な取組(3)③			
④ 家庭での食育を支援する親子食育講座の実施 継続			
(3) 地域の方々の学校給食への理解を深め、互いの連携を図る取組	(3) 学校給食への理解と関心を高める取組み		
① 学校給食への理解と関心を高める学校給食展の開催 継続	③	【新規】(事務局)地元の身近な農産物に親しみを持たせることで、食への関心を高めていく。	①③④
② 学校給食センターでの調理講習会、給食試食会の実施 統合			
③ 「食育月間」「食育の日」等の取組を通じた連携 継続			
④ 仙台産など地元の農産物を活用した給食での食育の推進 継続			
(4) 関係機関との連携で進める取組	(4) 仙台産など地元の農産物を活用した給食での食育の推進		
① スーパーマーケット食育体験ツアー・親子産地体験ツアー等の食育推進事業への協力 廃止			

体力向上につながる運動習慣

指標の方向性(素案)

現行	方向性(素案)	備考
① 運動が好きな児童生徒の増加(関心面「好き」10ポイント増加)	① 運動が好きな児童生徒の増加(関心面「好き」5ポイント増加) ※過去5年間の校種及び男女別の変化が-2.7~2.1ポイントであることを踏まえ、より実態に即した指標を設定する。	事務局(案)
② 運動をもっとしたいと思う児童生徒の増加(意欲面「やりたい」10ポイント増加)	② 運動をもっとしたいと思う児童生徒の増加(意欲面「やりたい」5ポイント増加) ※過去5年間の校種及び男女別の変化が、-3.7~8.4ポイントであることを踏まえ、より実態に即した指標を設定する。	事務局(案)
③ ほとんど毎日(週3日以上)運動する児童生徒の増加	③ ほとんど毎日(週3日以上)運動する児童生徒の増加	変更なし
④ 1日の運動時間が1時間以上の児童生徒の増加	④ 1日の運動時間が1時間以上の児童生徒の増加	変更なし
⑤ 実技調査(全144項目)の測定結果について、全国平均を上回る率を35%以上にする	⑤ 実技調査(全144項目)の測定結果について、全国平均を上回る率を35%以上にする	変更なし

施策の方向性(素案)

凡例					
新規	拡充	継続	統合	廃止	調整中

現行	
方策1	児童生徒の体力・健康実態の把握と活用
(1)	健康実態調査(「体力・運動能力調査」及び「健康に関する調査」の実施と活用)
①	健康実態調査による体力・健康に関する実態の把握 拡充
②	調査の正確な実施と結果の有効活用のための「体力・運動能力調査指導者講習会」の実施 拡充
③	仙台市スポーツ推進委員の派遣等による各校における「体力・運動能力調査」への支援 継続
④	「健やかな体の育成プラン」の各方面への活用 統合
(2)	「健康実態調査報告書」の作成及び「体力プロフィール作成ソフト」等の配布と活用
①	調査の集計や分析の結果をまとめた「健康実態調査報告書」の作成・提示 統合
②	「体力プロフィール作成ソフト」による集計・分析作業と結果活用への支援 継続
③	「体力・運動能力調査記録カード」の配布・活用による児童生徒・保護者への体力向上の啓発 継続

方策3	運動の日常化を図る環境づくりの推進
(1)	運動の意欲を高める環境づくりの支援
①	運動環境(体育用具・施設等)の整備・拡充・工夫を図るためのアイデア集の作成と配布 廃止
(2)	運動の機会を確保するための取組への支援
①	学校や家庭で行う運動や体を動かす遊びの紹介 拡充
②	児童生徒に運動や外遊び等を奨励する資料の作成と配布 拡充
③	運動施設の使用に制約のある学校に対する取組の工夫等についての例示 廃止
(3)	運動の楽しさを味わわせ、体力向上を図る取組
①	「アスリート活用事業(アスリート)による授業支援」の推進 拡充
②	「仙台市体力向上プログラム」「みやぎっ子元気アップエクササイズ」「アクティブ・チャイルドプログラム」の活用促進 統合
③	体力向上プログラム活用研修会の実施 統合
(4)	家庭・地域への運動の啓発
①	地域の効果的な取組の紹介 拡充
②	「体力づくり強調月間(毎年10月)」の普及 継続
③	健康教育研修会(仙台っ子セミナー)の開催による家庭への啓発 統合

方向性(素案)	備考	指標の方向性(素案)との関連
方策	体力の向上を目指した運動の日常化の推進	
(1)	体力・運動能力調査による実態把握及び結果の活用	
①	体力・運動能力の実態把握に向けた取組への支援 ◇正確な調査方法や課題改善に有効な運動事例等に関する講習会 ◇各校における調査測定にかかる支援	(木下委員長)データの正確性を大切にすること、測定方法を誤まらないこと等今後も継続していくべき。 ⑤
②	体力・運動能力の調査結果活用の推進 ◇体力・運動能力調査の集計・分析支援ソフトや最長12年間の調査結果を記録できるカード等の活用	⑤
(2)	運動や運動遊びの楽しさを体験できる環境づくりの支援や機会の提供	
①	発達段階に応じた体力向上のための取り組みの推進 ◇運動器機能の改善に有効な運動・運動遊び等の紹介 ◇小学校低学年向けの運動・運動遊び等の充実	(木下委員長)各学年に応じた運動事例の提示や仕方を拡充。低学年は体を動かす経験や遊びが大切。(津久井副委員長)神経系は低学年までに発達する。(金淵委員)学年に応じて目標を定めるとよい。遊びの中から体を動かす楽しさを覚え、そこから様々な運動につながる。 ①②③④
②	運動の楽しさを体験や基本動作の習得を目指した取り組みの推進 ◇トップアスリートや地元スポーツチーム等の活用 ◇学校と地域のスポーツ関係団体等との連携	(金淵委員)運動の基本動作を習得するためにアスリートを選択。 ①②③④
③	「体力づくり強調月間(毎年10月)」の普及や運動への関心や意欲の啓発	①②

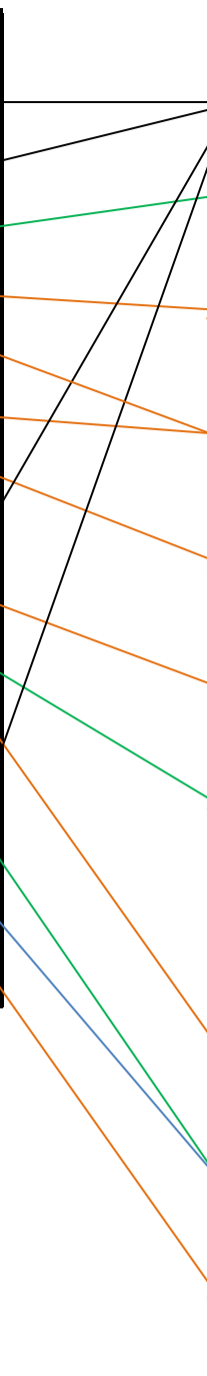
→総合的な取組(2)②

→総合的な取組(2)②

→総合的な取組(3)③

現行		
方策5	指導方法や指導体制を工夫した体育・保健体育授業の実践	
(1)	授業に生かせる指導資料等の作成と配布	
①	指導のコツ・ポイント、場の設定例や教材・教具の紹介を現場のニーズに応える内容で作成	継続
②	小学校体育の授業における交換授業やTT等の多様な指導体制の紹介	調整中
③	デジタルコンテンツ(写真・動画等)の効果的な活用の仕方の紹介	調整中
④	体育指導に関するデジタルデータの共有化の推進	調整中
⑤	体育・保健体育科の年間指導計画のモデル等の提示	調整中
(2)	体育・保健体育の授業づくりへの指導・支援	
①	教科研究会や大学との連携による授業研究会の実施	調整中
②	地域の方、教員志望の大学生等を体育の補助指導員として各校へ紹介	継続
③	訪問指導による授業づくりへの支援	調整中
(3)	体育実技研修会や保健学習の充実に関する研修会の実施	
①	文部科学省主催の体育実技の伝達講習会	継続
②	体づくり運動、ダンス、武道等の種目ごとの実技研修会	統合
③	保健学習の充実に関する研修会	調整中

方向性(素案)	備考	指標の方向性(素案)との関連
(3) 体育・保健体育等の指導や授業づくりに係る支援		
① 指導のコツ・ポイント、場の設定例や教材・教具を現場のニーズに応じて紹介		①②
② 小学校体育の授業における交換授業や学年体育の授業における複数の指導者による授業等、多様な指導体制の紹介	※学びの連携推進室との調整済み	①②
③ 体育指導に関するデジタルコンテンツ(写真・動画等)の効果的な活用方法の紹介	※教育センターとの調整済み	①②
④ 体育・保健体育科の年間指導計画のモデル等の提示	※教育センターとの調整済み	①
⑤ 教科研究会や大学との連携による授業の充実に向けた取り組みの推進	※教育センターとの調整済み	①②
⑥ スポーツ関係団体や地域人材等の活用による授業の充実		①②
⑦ スポーツ関係団体や地域人材等の活用による部活動指導の充実	【新規】(事務局)学校外の人材等の活用により部活動指導の充実を図る	①②
⑧ 学校への訪問指導による授業づくりへの支援	※教育センターとの調整済み	①②
⑨ 文部科学省主催の体育実技の伝達講習会の実施による授業支援		①②
⑩ 運動領域との関連を図った保健学習の充実に向けた取り組みの推進	※教育センターとの調整済み	①②



規則正しく健康を意識した生活習慣

指標の方向性(素案)

現行	方向性(素案)	備考
① 自分の体や健康に関心を持つ児童生徒の増加	① 自分の体や健康に関心を持つ児童生徒の増加	変更なし
② 睡眠時間が6時間未満の児童生徒の減少 [平成22年度の半数以下にする。]	② 睡眠時間が6時間未満の児童生徒の減少 (平成22年度の数値以下) ※現行プランの指標値は、急速な社会環境の変化に伴い、現状から離れた数値となっていることを踏まえ、より実態に即した指標を設定する。	事務局(案)
③ テレビやゲーム等のメディア接触時間が3時間以上の児童生徒の減少 [全国平均を下回る。]	③ テレビやゲーム等のメディア接触時間が3時間以上の児童生徒の減少 [全国平均を下回る。]	変更なし
④ 肥満傾向児の出現率の低下 [全国平均値を下回る。]	④ 肥満傾向児の出現率の低下 [全国平均値を下回る。]	変更なし

施策の方向性(素案)

凡例					
新規	拡充	継続	統合	廃止	調整中

現行		方向性(素案)	備考	指標の方向性(素案)との関連
方策2	効果的な学校保健活動の展開	方策 健康への関心を高め、望ましい生活習慣の定着化を図る取組の推進		
(1)	規則正しい生活習慣の確立に向けた取組への支援	(1) 規則正しく健康を意識した生活習慣の確立に向けた取組への支援		
①	「生活習慣振り返りシート(すくすくシート)」のモデル提示 統合	① 規則正しく健康を意識した生活習慣の普及啓発の推進 ◇健康や生活習慣に関する指導用資料(指導の実践例・学習指導案等)の紹介 ◇WEBページの活用 ◇歯の衛生モデル校事業等の取り組み ◇薬物乱用防止教育の推進		①②③
②	保健指導用資料の提示やWEB等ページによる啓発 継続			
③	規則正しい生活習慣の確立に向けた取組を啓発するミニポスターの配布やスローガンの設定 統合			
④	保護者対象の研修会・講演会の実施 統合	② 児童生徒の自己管理能力の育成を図る取り組みの推進 ◇健康課題(学校事故防止、不登校、自死防止等)に関する研修会等の実施	【新規】(事務局)学校事故防止等の心身の健康課題、不登校や自死に関する心の健康課題を通し、児童生徒の自己管理能力の育成を図る。	①②③④
⑤	地域の施設・制度の紹介(児童館・児童センター、仙台すくすくサポート事業による家庭支援) 継続	③ 健康診断による実態把握と調査結果の活用 ◇成長曲線・肥満度曲線の結果の活用 ◇運動器検診の実施と調査結果の活用	【新規】(事務局)成長曲線の結果や、運動器検診の結果を活用することにより、児童生徒の健康づくりへの意識を高める。	①④
⑥	歯の衛生モデル校事業等の先進的な取組の普及啓発 継続	(2) 充実した学校保健活動の展開		
(2)	学校保健委員会活性化への支援	① 学校保健委員会活動の充実に向けた支援 ◇学校保健委員会の実施状況調査による課題の把握と改善策の提案 ◇学校保健委員会の取組事例の共有化及び具体的な運営資料の紹介		②③④
①	実施状況調査による学校保健委員会の開催状況と課題の把握 継続	② 健康観察や健康相談の効果的な進め方等に関する研修会の実施		①②③④
②	各学校における取組事例の発表やグループワークを取り入れた健康教育研修会の開催及び具体的な運営資料の提示 継続			
(3)	健康観察や健康相談(解説9)の充実に向けた指導助言	(3) 他機関との連携による家庭への支援		
①	健康観察や健康相談に関する研修会の実施 継続	① 地域の施設・制度の紹介(児童館・児童センター、子供預かり有償ボランティアによる家庭支援)	※他課との調整中	①
②	健康観察や健康相談の効果的な進め方に関する事例や資料の配布 統合	② 睡眠とメディアの関係について家庭への啓発を図る取り組みの推進	【新規】生活習慣(睡眠とメディアの関係)は家庭との連携が必要のため	②③

健やかな体の育成を図る総合的な取組

施策の方向性(素案)

凡例					
新規	拡充	継続	統合	廃止	調整中

現行			方向性(素案)			備考							
方策6	健康教育推進校を中心とした取組と普及		方策	各習慣の総合的な取組による子供の健やかな体の育成の推進									
(1)	健康教育推進校の指定とその取組に対する指導助言		(1)	健康教育推進のための学校支援									
①	推進校として小学校2校, 中学校1校を指定	継続	①	先進的な健康教育の普及 ◇指定学校での研究に対する支援及び指導助言 ◇指定学校間での情報交換 ◇実践事例の情報発信				(事務局)本プラン及び健康教育推進校の成果等で, 実効性のあるものを一部の指定校だけでなく, 全市立学校に普及していく。					
②	学校訪問等を通しての指導助言(研究推進の方向性, 組織づくり, 計画づくり, 実践活動等)	継続											
③	連絡会等の開催による研究推進の進捗状況の確認と情報交換	継続											
(2)	共に進める体制づくりへの支援		(2)	健康実態調査における児童生徒の健康状況等の把握と活用									
①	健康教育推進校と家庭や地域, 関係機関, 近隣の学校との連携体制のための情報提供	統合	①	子供の健康に関する実態の把握 ◇食習慣, 運動習慣, 生活習慣について, 子供自身の回答による実態把握の取り組み				【新規】(事務局)子供の健康に関する意識や各習慣の実態等を調査し, 本プランの指標等に活用する。					
②	関係機関への働きかけ	統合											
(3)	取組の成果の普及		②	健康の状況や健康への意識等の実態に即した取り組みの促進 ◇「定期健康診断」「体力・運動能力調査」「健康に関する質問紙調査」の結果の活用				方策1(1)④, (2)①からの統合					
①	実践事例集の刊行	継続											
②	実践発表会(仮称)の開催	継続											
③	学校Webページ等による研究推進に関する情報発信, 電子データ等の共有化への支援	継続	(3)	子供の健やかな体の育成の啓発及び推進									
			①	子供が自らの習慣を振り返ることにつながる指導の展開 ◇指導用資料の紹介				方策2(1)①からの統合					
									②	望ましい食習慣, 運動習慣, 生活習慣の定着化を図る啓発活動の推進 ◇日常生活で意識しやすい啓発 ◇入学前からの啓発			【新規】(金淵委員)日めくりカレンダーであれば, 教職員は毎日特定の内容を指導しやすい。 【新規】(津久井副委員長)小学校で重要視するポイントを意識してもらい, 連携を図れる。
			③	健やかな体の重要性について認識を深める取り組み ◇保護者や一般市民等への啓発 ◇教職員の研修機会の提供				方策2(1)④, 方策3(4)③, 方策4(2)③からの統合					